

事業所自己評価シート

職員による自己評価

保護者による評価

A 環境面

- ・職員配置、事業所の設備共に行政の指針に準じている。(6名以上の配置の心がけ、エレベーター有り)

B 児童への支援内容

- ・プログラムが固定化しないように、全職員で話し合いを重ね、計画を立てている。
- ・面談、モニタリングを定期的に行い、個別に支援が出来るように工夫をし、努力をしている。

C 関係機関との連携

- ・日頃の活動内容に関しては、保護者様に説明、情報共有をし、課題、目標を立てている。
- ・外部との情報共有が弱い為、改善が必要。

D 保護者への説明責任・信頼関係

- ・各自、説明は自前に行っている。保護者様より話があった際は即時対応を行っている。こちらからの情報の発信が薄い為、交流の場を設ける。

E 非常対応

- ・半年に一度の避難訓練を実施。各種マニュアルについては、研修の場を設け全職員、認識出来る様、努力をしている。

A 環境面

- ・活動面スペースに関しては、現時点では問題がないが、今後高学年が増えてきた際はスペース不足と感じる。

B 児童への支援内容

- ・プログラム（特にレクレーション）に関しては、高評価。他、外でのプログラムの要望もあった。
- ・外部との交流に関しては意見が分かれていた。

C 事業所からの情報発信

- ・支援内容については、高評価を頂けた。
- ・父母会の開催が無い為、要望が多数あった。検討が必要。

D 非常対応

- ・各種マニュアルについては、周知はしているが、説明不足の点も見られた。
- ・避難訓練に関しては、こちらからの発信不足もあり「分からない」とのご意見が多く見られた。

事業所内での分析

【共通点】

- ◎運営については、基準に沿っている為、問題は無い。今後児童が成長していくにあたり、スペース確保の問題はある。
- ◎支援、活動内容については、こちらより細かく口答、書面でご報告させて頂いており、ご理解を頂けていると言える。外部、保護者様との関わる活動が弱い。

【相違点】

- ◎避難訓練に関しては、実施は行っているも、保護者様への発信不足もあり、周知されていない。

分析・検討してみて…

事業所の強み

- ◎レクレーションを通しての支援内容
(豊富な行事・レクレーションを計画し、児童の興味を引き付け、発達支援へとつなげる)
- ◎個別に支援するにあたり、課題・目標の把握と協力体制

事業所の改善点

- ◎外部との交流の場を検討
- ◎保護者様参加型の行事の実施
- ◎内部研修の増加
- ◎スタッフ育成
- ◎各種マニュアルの見直し、把握、情報の発信
- ◎外部研修への積極的な参加

事業所の改善への取り組み

- ◎外部と交流を望まない保護者様も見られる為、自前に調査、アンケートをとり、地域との交流を試み、活動の場を広げて行く。
- ◎保護者様との交流の場を計画し、情報交換が出来る場を設け、更なる支援に役立てる事で、安心・信頼へと繋げる一部にしていく。
- ◎研修の取り組みを増やし、更なるスタッフのスキルアップを図る
- ◎マニュアルについて、必要なものは、保護者へ情報提供を行なっていく。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

度重なる、管理者・自発管の交代、職員の入れ替わりもあり、不安を感じていらっしゃる保護者様も多い中、変わらずご利用頂けている事に、感謝をし、嬉しく思っております。今年度も、8割強のアンケートのご協力を頂きました。ご回答を元に、見直しを行い、改善していきたいと思っております。ただ遊ぶだけの場ではなく、しっかりと療育が出来る環境を作り、工夫したプログラムを考え、日々楽しみに通って頂けるような事業所作りをしていけたらと思います。

事業所名 岡喜児童デイサービス阿久和

担当者 西村 愛